

2023年10月13日

2023年9月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参テキストに動きがみられたが、小ロット案件が中心で大口案件が乏しく前年を下回った。

巻取は学参、生損保に動きがあったが、チラシの減少により前年をやや下回った。

（前年比 平判 89.5% 巻取 97.0%）

再生紙平判は入札案件の受注増加により前年を上回った。

再生紙巻取は定期案件以外の仕事に動きが見られず、また大口案件も少ないため前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 110.8% 再生上質巻取 82.1% 再生上質計 92.9%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.9%）

（2019年比 印刷用紙 A 計 70.9%）

<A2 コート>

平判はインバウンド、国内旅行、イベント、カレンダー、学参のパンフレットで一部動きがみられたが、目立ったスポット案件がみられず、グロス、マット共に前年を大きく下回った。

巻取はスーパーや食品デリバリー、不動産で一部動きがみられたが、出版、商印の動きが非常に悪く、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 86.8% 巻取 71.3% 全体 83.5%）

（2019年比 A2 コート計 64.9%）

<A3 コート>

スーパーや食品デリバリーで一部動きが見られたが、金融、生損保、学習塾、不動産のチラシの動きが鈍く巻取が前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 95.9% 巻取 75.9% 全体 80.4%）

（2019年比 A3 コート計 75.9%）

<ノーカーボン紙>

平判はインボイス関連の手書き帳票に動きが見られ、前年を大幅に上回った。

巻取は前月止まっていた損保に動きがあった。一方前年はコロナワクチン予診票で動きがあり、帳票のWeb化による数量減と相まって前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 110.3% 巻取 77.8%）

<上質フォーム>

一部生損保の動きは見られたが、前年のコロナワクチンの通知物や電力会社の料金改定案内、旅行支援に関連した商品券などの動きが見られず前年を大幅に下回った。

(前年比 66.9%)

<包装用紙>

特殊両更は一般事務用封筒に一部動きがあり前年を上回った。

(前年比 107.1%)

軽包装は生花向け包装用途などに一部動きが見られたが、製本会社向け雑包装用途の回復が鈍く前年を下回った。

(前年比 94.1%)

片艶晒は在庫不足による片艶晒離れが続いており、前年を大きく下回った。

(前年比 64.6%)

両更晒は役所向け、一般企業向け封筒に一部動きがあったものの、手提袋の動きが鈍く前年を大きく下回った。

(前年比 87.3%)

色クラフトは一般企業向け社用封筒、ワクチン向け封筒に一部動きがあったものの全般的には動きが鈍く前年を下回った。

(前年比 94.2%)

純白ロールはお彼岸や連休向けで包装紙関連に動きは見られたが、一部で上質紙など他銘柄へ移行している影響もあり前年を下回った。

(前年比 78.8%)

包装紙全体でも 86.5%と前年を大きく下回った。

<板紙>

コートボールは日用品、レトルト食品、ティッシュで未だ物価高騰の影響があり、低調であった。

特板はインバウンドの影響も多少あり、化粧品や OTC 医薬品の動きも堅調で POP も回復基調であった。

チップは出版、エンタメ系、車の梱包材関連とも振るわず低調であった。

全体では前年を下回った。

(前年比 93.6%)